

森中だより

第11号

【学校教育目標】 学び合おう 磨き合おう

【重点目標】 ○学力を保障する
○自律（自立）した集団をつくる
○学びに向かう土台づくりをすすめる

学び合い磨き合ってつけてきた力を 活かす時は今！

2017年度、森中学校は学校教育目標「学び合おう、磨き合おう」を掲げ、仲間との関わり合いの中で教育活動を行ってきました。学習においては、グループで「学び合い」活動を組織しながら、わからないところがみんなわかるようになることをめざしました。学校行事や生徒会活動では、磨き合い高め合う場を設定し、学校生活への意欲化に努めてきました。その結果、多くの成果を得ることができました。その一部を紹介します！

1.学力の保障の取組

生徒の肯定評価率

① 1分前着席

1 学期	2 学期	3 学期
87.9%	94.2%	97.1%

授業の開始の時

に、授業準備ができ、気持ちが授業に向かうことは大変大切なことです。現在1分前には、教科委員の呼びかけで着席ができ、授業準備をして授業の開始を待つ風景がどの学年でも見られています。

② 学び合いへの積極性

1 学期	2 学期	3 学期
89.7%	93.2%	92.2%

ペアやグループで

お互いのわからないところを教え合ったり、お互いの考えを出し合ったりしながら、学習を進めています。ただ聞くだけの授業より、生徒は「学び合い」が大好きです。

③ 定着のための課題

1 学期	2 学期	3 学期
86.9%	88.2%	81.6%

「学習した時はわ

かっていたのに、テストをしたらできなかった。」という経験はだれにでもよくあること。それを少しでも解消するように、英語数学は毎日課題を出しました。特に英語は町の確認テストで、その頑張りが結果となって表れました。

1年 59.8点→64.8点→70.7点→77.9点

2年 66.9点→67.2点→61.8点→90.4点→93.4点

(1年4回、2年5回の平均点の伸びの様子)

2.自律（立）した集団づくりの取組

① 仲間との関わり

1 学期	2 学期	3 学期
91.6%	94.2%	92.2%

昨年度80%台だった

「仲間との関わりが楽しいと思っている生徒」が、今年度はずっと90%以上でした。生徒会活動や学級活動を通して、友達や先輩後輩と関わることで、お互いの良さを認め合い学ぶことができた証だと考えています。

3.学びに向かう土台づくり

① 自らあいさつ

1 学期	2 学期	3 学期
85.0%	88.3%	89.3%

「先手あいさつ」

「一視(止)一礼」に取り組みました。まだまだ声が小さい生徒もいますが、先生や来客に対してあいさつが良くてできています。町の中でもだれでもあいさつできるようにレベルを上げていきたいと思っています。

今年度の課題とその改善に向けての具体的対応策

○集団の中で見せたやる気、先生に声をかけられて見せたやる気が、個人レベルで継続できない生徒がいる。

→生徒が考えて行動する場をさらに多く設定

○学習したつもり、したはずの内容が定着していない生徒が多い。

→授業改善(生徒にとって魅力ある授業をめざします)

→家庭学習の質の向上(詳細は来年度)

→学習時間の確保(ゲーム・スマホのルール作り)

○先のことを考えずに、その場限りの判断で行動をする生徒がいる。また何のために学習をしているのか考えていない生徒もいる。

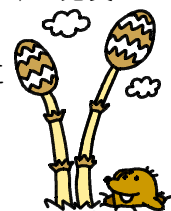
→キャリア教育(自分の生き方を考える)の充実

○公共心が欠けていたり、地域意識に欠ける生徒がいる。

→地域に向けた生徒会活動の創設

○行動が自立できていない。人に頼る生徒が多い。

→ノーチャイム＝時間を見て行動できる生徒の育成をめざします。(また、これに伴い、生徒の始業時間を来年度より8時20分とします)



オリンピック選手が森中へ

今年の4月27日（金）に、元オリンピック選手金メダリストの岩崎恭子さんが森中学校へ来校することとなりました。総合的な学習の時間の講師として新2年生（現1年生）を対象に授業をしてくださいました。

もちろん、このような授業が実現すること自体が夢のような話なのですが、これに至るには、本校のある卒業生の「夢をあきらめない心」があったのでした。その生徒の名前は秦絵莉香さん。森高校を卒業しCA（キャビンアテンダント）をめざして大学に進学しました。しかし、そこで学ぶうちに、自分の本当にやりたいことを見つけたのです。そしてその夢実現に向け、温めてきた構想を企画書にし、その大学で行われている「夢プロジェクト」に応募したのでした。彼女の夢は、「スポーツを通してふるさと明珠を活性化すること」。しかも、まずは、そこで暮らす子どもたちを元気にし、大きな夢を持ってもらい、世界に挑戦して行ってほしい、そして、その元気で大人を元気にし、ひいては明珠町全体の元気につなげていきたいというものなのです。昨年11月に大学で行われた「プレゼン」でもこのことを訴え、この企画は見事に優勝を勝ち取りました。そして、その夢実現のための費用にと、100万円の副賞を手にしたのでした

本日、秦先輩の授業が、1年生で行われました。本人の想いやこれからの具体的な取り組みが伝えられました。オリンピック選手とともに創る授業、今後は楽しみでたまりません。

43人の卒業生の旅立ち

3月2日（金）、第71回卒業証書授与式が行われました。

卒業式テーマは「飛翔（はばたき）」～希望あふれる未来への挑戦～。

そのテーマのように、43人の卒業生は堂々と胸をはり、森中生としての誇りを持って卒業していきました。



在校生も、しっかりと伝統を引き継ぎ、自分たちが森中学校を創っていくんだという意志を確認することができました。

皆様のご支援ご協力に大変感謝いたします

先日、森自治会館まつりに参加させていただきました。地域の方々の様々な取り組みに、改めて地域の活力を感じるとともに、明日に繋がるパワーをたくさん頂きました。

さて、森中学校も2017年度の取り組みを終え、いよいよ2018年度、森中学校最後の年に突入します。今年度の課題をしっかりと受け止め、その解決に向けて、さらには、閉校の年にふさわしい最高の森中学校をめざして、教育活動をすすめて参りたいと思います。これまでもこれからも地域の方々に支えられながら、森中学校は存在していると考えております。

来年度は、閉校イベントとして地域の方々にご支援ご協力をさらにお願ひすることになるかと思いますが、是非よろしくお願ひします。